

---

# 世界

ekaki

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

世界

### 【Nコード】

N1590B

### 【作者名】

ekaki

### 【あらすじ】

僕が全てだ。僕以外のモノは、全て僕の玩具だ。僕が世界だ。

(前書き)

この話は、学校の歴史の授業中に閃きました。  
この物語の主人公に共感できる人も、中にはいるかもしれません。

世界が始まったのはいつだ？  
地球が生まれた時？  
太陽系が生まれた時？  
人類が生まれた時？  
宇宙が生まれた時？  
残念、不正解。  
正解は、僕が生まれた時。  
つまり13年前。

じゃあ、世界が終わる時は？

地球が破滅する時？  
太陽系が無くなる時？  
人類が滅亡する時？  
宇宙が消え去る時？  
否。正解は僕が死ぬ時。

つまり、・・・つまり、僕は世界が終わる時を操れる。

僕の存在は、森羅万象と直結している。

僕が生まれた時、全ては始まった。

そして、僕が終われば、その瞬間に全ては終わる。

・・・まあ、僕以外の全てのモノは、僕の輝かしい命を彩るモノだ。

玩具だ。道具だ。装飾品だ。

なんて愉快的事だろうか。

森羅万象は僕であり、僕は森羅万象だ。

ただ一つ残念な事は、そこらの連中・・・玩具共が、その事実を知らないことだ。

皆何も知らない。

僕が全てである事を、誰も知らない。

何も知らないから、皆僕を軽視する。  
幸せな奴らだ。

僕が全てである事も、僕の存在のおかげで保っていられる命だと言  
う事も、何も知らないで威張っていられるのだから。  
いつその事、皆に知らせてやろうか？

「僕が全宇宙の支配者だ。僕は全てのモノと直結しているんだ。僕  
が終われば貴様らも終わるんだ。神とは、すなわち僕の事だ。僕が  
神だ。僕が神だ。僕が神だ。神だ。神だ神だ。」  
・・・でも言わない。

僕は優しいから。そんな事を言ったら、皆脅えて、生きる事を楽し  
めなくなってしまう。  
神とは慈悲深いものなのだ。

僕は神だから、慈悲深くする必要がある。でも・・・。  
・・・でも、僕の慈悲深さにも限界がある。  
最近、玩具共が調子に乗り出したのだ。

平気で僕を罵ったり、暴行したり、疎外感を与えたり、不快感を与  
えたりしてくる。

あの馬鹿共め。  
僕のおかげで、かりそめの生を楽しんでいるクセに。  
やはり、一度思い知らせてやる必要がある。

・・・あいつらに言っただろう。  
あの玩具共に教えてやろう。  
真実を。

僕の真実を。  
僕が神だと言う事を。  
この世界の真理を。

「僕は神だ。お前らは僕のおかげで生きてるんだ。調子に乗るな。  
このカス共めが。」

・・・ふ・・・ふはっは、ははは・・・ふ・・・。  
言っただろ。ついに教えてやっただろ。

さあ、泣け。膝をついて懇願しろ。そうすれば一命は助けてやる。

・・・何で笑うんだ。

・・・何で泣かないんだ。

何で許しを乞わないんだ。

何でまた僕を不快にするんだ。

このゴミ共め。

許さない。絶対に許さないぞ。

最後の手を使って、思いしらせてやる。

・・・このナイフが僕の喉を断つ時、お前らは消えるんだ。

僕はこの命を断つても、また世界と共に生まれ変わるから、何の心配もない。

・・・いまさら叫んだって、遅いんだよ。

怖いんだろう？消え去るのが・・・。

だからさつき謝ればよかったのに。

もう許さないぞ。

・・・止める、だと？

誰にむかって口を聞いているんだ。

止めて下さいませ、だろうが、このカス共め。

全く、最後の最後まで、不愉快な連中だ。

・・・あ、僕にとつては最後じゃねーや。はは。

・・・さて、じゃあそろそろ死ね。

・・・はは、泣いてら。

僕を見つめて泣いてらあ。

いい気味だ。

苦しくて泣いてんだろ？

悲しくて泣いてんだろ？

絶望感に泣いてんだろ？

・・・ああ、視界が暗くなってきた。

世界の終りも近いな。

(後書き)

どうでしたでしょうか。

世界の歴史や、世界の宗教、いや、世界そのものを疑う人がたどりに着く考えなのかもしれません。

感想や、誤字脱字がありましたら、報告して頂けたら嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1590b/>

---

世界

2010年10月28日06時05分発行